

作業1 以下にカップ1個の場合のデータを写し、それをもとにv-tグラフを描く。

時間(s)	速度(m/s)

時間(s)	速度(m/s)

作業2

カップの個数が1~4個の各場合について終端速度を読みとり、下表を埋める。ただし、カップ1個の場合は作業1で描いたグラフから読みとり、カップ2個以上の場合はsparkのグラフ画面やデータ画面から読みとる。

カップ個数(個)	1	2	3	4
終端速度(m/s)				
終端速度の2乗				

作業3

カップの個数と終端速度の2乗の関係をグラフに描く。横軸にカップ個数、縦軸に終端速度の2乗をとること。

考察

終端速度に達するまでの時間はカップの個数(質量)とどのような関係があったか。

作業3で得られたグラフから、カップの個数(質量)と終端速度の間にはどのような関係があるといえるか。(数学用語を用いて書く)

その他(気づいたこと何でも)

感想

高I ()組 ()番 名前()